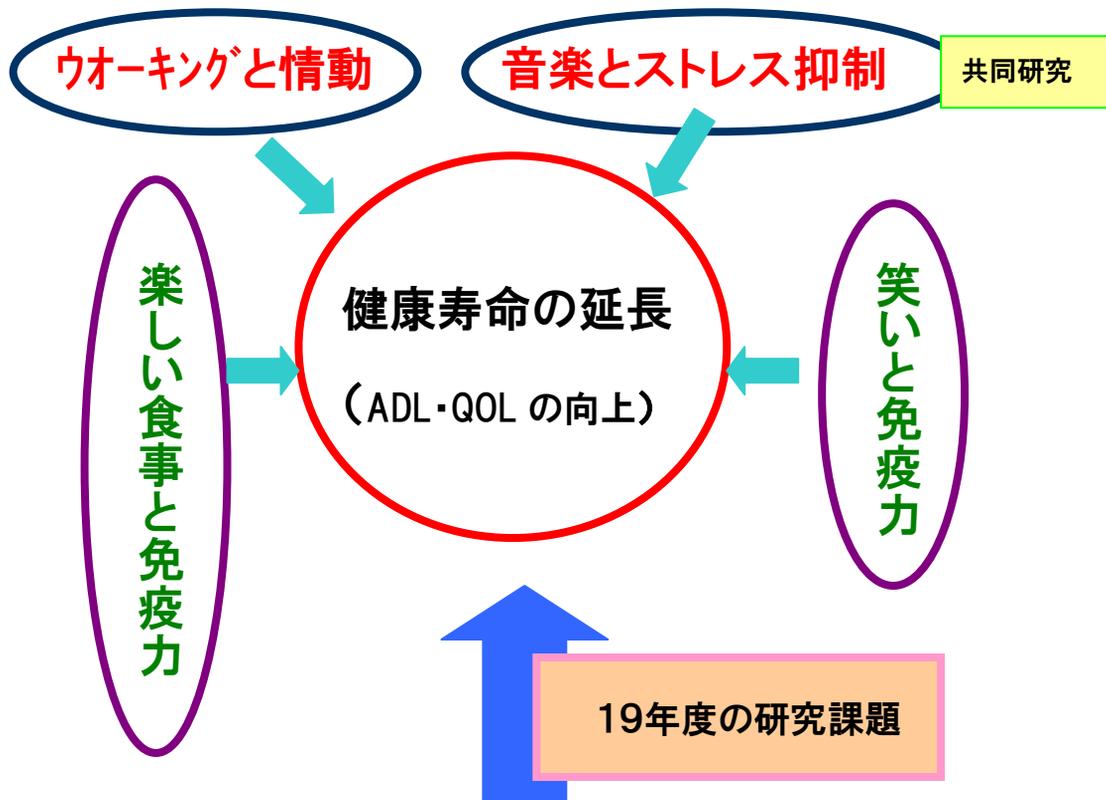


QOLの向上を目指した取り組みについて

保健医療学部 基礎理学療法学講座 武田秀勝

我々の日常生活でさり気なく過ごしている行動が健康寿命の延長を促進している根拠について身近な行動をテーマに検証することを目的とする。この目的が証明されれば、多少なりともQOLやADLの向上に貢献できることが期待できる



- ① 朝食摂取と思考力(朝食の重要性)
- ② パークゴルフの貢献
- ③ 入浴の効果
- ④ 軽運動と基礎代謝量の維持



18年度までに基礎研究が終了している課題

主なパラメータ: MCL-S1 唾液中コルチゾール 唾液中アミラーゼ
NK 細胞活性 カロリー消費量